

第 18 期第 1 回町田市立図書館協議会次第

■日 時：2019年8月6日（火）10：00～12：00

■場 所：町田市立中央図書館 6階中集会室

■次 第：

1. 図書館長挨拶

2. 委員自己紹介

3. 委員長・副委員長の選任及び挨拶

4. 事務局説明

- ・配布資料について
- ・図書館協議会議事録の作成について
- ・会議での発言方法について
- ・傍聴について
- ・今年度スケジュール、主な審議事項について

5. 協議・報告事項

（1）「効率的・効果的な図書館サービスの方向性」への意見について

（2）2018年度図書館評価の外部評価について

（3）第4期町田市生涯学習審議会委員の推薦について

（4）図書館からの報告

（5）その他

町田市立図書館協議会 第18期委員名簿

任期： 2019年8月1日～2021年7月31日

選 出 区 分	氏 名	備 考
1号 学識経験を有する者	さわい ようすけ 澤井 陽介	新任 国士舘大学体育学部教授
〃	まつもと なおき 松本 直樹	新任 慶應義塾大学文学部准教授
2号 学校教育の関係者	おざわ ともゆき 小澤 智幸	再任（2期） 山崎小学校校長
〃	いわた てつお 岩田 哲生	新任 小山田中学校校長
3号 社会教育の関係者	しみず ようこ 清水 陽子	再任（4期） 町田の図書館活動をすすめる会
〃	すずき まさよ 鈴木 真佐世	再任（4期） 町田の図書館活動をすすめる会
〃	いしい きよふみ 石井 清文	再任（2期） NPO法人まちだ語り手の会
〃	よしだ かずお 吉田 和夫	新任 社会教育委員
〃	こにし ひとみ 小西 ひとみ	再任（2期） 町田音訳グループ・朗奉
4号 家庭教育の向上に資 する活動を行う者	わかいろ なおみ 若色 直美	再任（2期） NPO法人子ども広場 あそべこどもたち

図書館協議会議事録の作成について

2019年8月6日（火）
町田市立図書館協議会事務局

【作成要領、基本事項】

1. 議事録は、要約とし、発言者を併記したものとします。
2. 確定後の議事録は、町田市立図書館ホームページに掲載をします。

【議事録作成スケジュール】

1. **（仮）議事録作成**
事務局が（仮）議事録を作成します。
↓
2. **（仮）議事録送付～確認**
各委員宛に（仮）議事録をメールで送付、確認をしていただきます。
確認期間は、概ね4～5日間とします。
↓
■訂正がなかった場合
（仮）議事録を**「議事録（最終案）」**とします。
↓
■訂正申し出があった場合
事務局が訂正内容を反映した**「議事録（最終案）」**及び訂正部分を記載した**（仮）議事録の訂正箇所について**を作成し、各委員宛にメールで送付、確認をしていただきます。

★（仮）議事録の訂正範囲について
原則として、訂正可能なケースは以下2点とします。
①表記の誤り（誤字、脱字等）
②発言の趣旨を正しく伝えるため、どうしても訂正が必要なもの
↓
3. **議事録の確定**
議事録の確定は、議事録（最終案）送付後の直近の図書館協議会の場において確認を行い、了承されたときとします。
↓
4. **ホームページへの掲載、市政情報課への提出**
確定された議事録は、町田市立図書館のホームページに掲載し、市役所市政情報課へ提出します。

第18期町田市立図書館協議会 2019年度スケジュール（予定）

■第1回協議会

- 開催日時 8月6日（火） 10：00～12：00
- 予定議事等
 - ①「効率的・効果的な図書館サービスの方向性」への意見について
⇒図書館から概要説明
 - ②2018年度図書館評価（第2期最終年）の外部評価について
⇒図書館から概要説明
 - ③生涯学習審議会委員の推薦
 - ④図書館からの報告ほか

■第2回協議会

- 開催日時 9月27日（金） 9：30～11：30
- 予定議事等
 - ①「効率的・効果的な図書館サービスの方向性」への意見について
⇒図書館サービスのアクションプランについての意見
 - ②2018年度図書館評価の外部評価について
⇒図書館から資料の提示、外部評価の開始
 - ③図書館からの報告ほか

■第3回協議会

- 開催日時 10月31日（木） 14：00～16：00
- 予定議事等
 - ①「効率的・効果的な図書館サービスの方向性」への意見について
⇒運営手法の比較などについての意見
 - ②2018年度図書館評価の外部評価について
⇒外部評価の中間確認
 - ③図書館からの報告ほか

■第4回協議会

- 開催日時 未定（2020年1月頃を予定）
- 予定議事等
 - ①「効率的・効果的な図書館サービスの方向性」への意見について
⇒最終案の確認
 - ②2018年度図書館評価の外部評価について
⇒最終案の確認
 - ③第3期図書館評価（2019年度～2024年度）について
 - ④図書館からの報告ほか

※2020年度は4月～翌3月の間で6回開催予定

「効率的・効果的な図書館サービスの方向性」への意見について

1. 背景・経過について

町田市立図書館では、2017年2月策定の町田市5ヵ年計画17-21行政経営改革プランにおいて、貸出冊数の減少傾向などを背景に、効率的・効果的な図書館サービスの提供と8カ所の図書館の再編を推進することを目標に掲げています。

そこで町田市教育委員会は、2018年8月に「今後の町田市立図書館のあり方について」、町田市生涯学習審議会に諮問し、2019年1月に答申を受けました。この答申を踏まえて、2019年2月に「町田市立図書館のあり方見直し方針」を策定しました。

本方針には、今後の町田市図書館の「めざす姿（運営の基本方針）」と「図書館再編の必要性と方向性」を示すとともに、2019年度中に、めざす姿を実現するための「図書館サービスの見直し」、「図書館資源の配分」、「図書館の運営体制の確立」の具体化を検討し、効率的・効果的な図書館サービスの方向性を決定するとしています。

検討に際しては本協議会委員の皆さまからの意見をいただきたいと考えております。

【検討経過のイメージ】

2017年2月策定 町田市5ヵ年計画17-21（行政改革プラン）

→効率的・効果的な図書館サービスの提供と8カ所ある図書館の再編推進を目標に設定

町田市教育委員会諮問・町田市生涯学習審議会答申

2019年1月「今後の町田市立図書館のあり方について（答申）」

→「今後の町田市立図書館の目指すべき姿」と「再編を進めるうえでの留意点」

町田市教育委員会

2019年2月策定 「町田市立図書館のあり方見直し方針」（☞【資料⑤】概要版参照）

めざす姿（運営の基本方針）

- ・あらゆる市民が利用しやすい図書館
- ・子どもの読書活動を充実させる図書館
- ・地域のコミュニティ形成を支援する図書館
- ・地域の課題や社会状況の変化に対応する図書館

再編の必要性と方向性

- ・鶴川と鶴川駅前の集約（2026年度まで）
- ・さるびあと中央の集約（2026年度まで）
- ・木曽山崎、金森の複合化（2027年度以降）

図書館サービスの見直し

- ・「めざす姿」実現のためのサービス展開

図書館資源の再配分

- ・常勤と会計年度の役割整理
- ・施設再編の具体的検討
- ・運営経費適正化とサービスへの再配分

新しい運営体制の確立

- ・民間活力の導入検討
- ・ICTの活用検討

アクションプラン

アクションプラン

アクションプラン

協議会
意見

2019年度「効率的・効果的な図書館サービスの方向性」の決定

2. 目標年次について

直近に取り組む図書館サービスとそのアクションプランについては、町田市教育委員会が2019年3月に策定した、町田市生涯学習推進計画2019-2023に具体的に示しています。

同計画との整合を図るため、目標年次を2023年度とします。ただし、目標年次を超える中長期的な展望についても併せて描く予定です。

☞【資料⑥】町田市生涯学習推進計画2019-2023 抜粋参照

3. ご意見いただきたい内容について

「効率的・効果的な図書館サービスの方向性」を決定するにあたり、主に以下のことについて、当協議会の意見をいただきたいと考えております。

(1) 図書館サービスのアクションプラン

4つの「めざす姿」を実現するための図書館サービスとそのアクションプランについて。特に、町田市教育プラン2019-2023や町田市生涯学習推進計画2019-2023において具体化されていない取組や、中長期的な展望などについて。

☞【資料⑦】「めざす姿」実現に向けた図書館サービスのアクションプラン（案）参照

(2) 運営手法の比較

図書館運営に民間活力を導入する場合の各運営手法のメリット・デメリットの比較、比較にあたっての着目点、留意点などについて。

4. スケジュールについて

時期		図書館協議会	教育委員会・図書館
2019年	4月		検討開始
	8月6日	第1回協議会（※本日） ・概要、スケジュールについて	概要説明
	9月27日	第2回協議会 ・図書館サービスについて（意見）	意見反映
	10月31日	第3回協議会 ・運営手法の比較について（意見）	意見反映
2020年	1月	第4回協議会 ・最終案の確認	最終案報告
	2月		教育委員会決定
	4月		決定内容に基づく取組開始

町田市立図書館のあり方見直し方針【概要版】

【資料⑤】
第1回図書館協議会
2019年8月6日

1 検討の背景

町田市では、人口減少・超高齢化社会の到来、社会保障関係経費の増大や税収入の減少などからくる財政状況の悪化への対応が急務となっている。また、町田市の公共施設の半数以上が築30年を超えており、多くの施設が老朽化による更新の時期を迎えつつある。

これらの環境変化を踏まえ、「町田市5カ年計画17-21」行政経営改革プランにおいて町田市立図書館は、鶴川駅前図書館、忠生図書館を新しく開館するなど、図書館サービスの利便性を高めてきたが、貸出冊数は減少傾向にあることなどから、効率的・効果的なサービスを提供するとともに、8か所ある図書館の再編を推進するため、2018年度までに見直し案を決定することとした。

また、必要な公共サービスを維持または向上させていくため、町田市は2016年3月に「町田市公共施設等総合管理計画（基本計画）」を、2018年6月には「公共施設再編計画」を策定した。同計画のなかで図書館は、方向性として「集約化や複合化・多機能化」などを進めていくことを決定した。

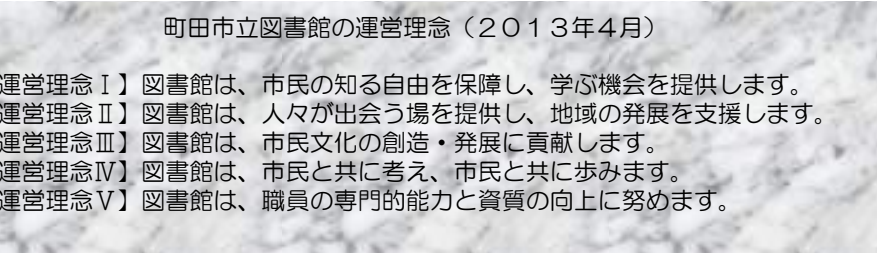
教育委員会では、2017年度から「生涯学習施設のあり方検討委員会」を発足し、図書館のあり方について検討を重ねてきた。

そして、第3期町田市生涯学習審議会による「今後の生涯学習施策の進め方について」及び第4期町田市生涯学習審議会による「今後の町田市立図書館のあり方について」の答申を踏まえ、以下の通り図書館のあり方見直し方針を定める。

2 図書館の役割と町田市立図書館の運営理念

2012年12月に改正された文部科学大臣が定める図書館の運営に関する基準「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」では、図書館が読書活動を通じた社会教育を行うことを基本としつつも、新たに「地域の課題に対応したサービス」を行うよう努めることとしている。

町田市立図書館は、これらの図書館法等に基づく図書館の基本的な考え方や役割、その変化等に対応しながら、2013年4月に定めた運営理念に基づき図書館運営を行っている。



3 取り巻く状況

- ◆インターネットやスマートフォンの普及情報の調べ方
 - インターネット検索（PC・スマートフォンなど） 62.8%
 - 本を買う 7.7%
 - 図書館で本を借りる 3.2%
- *「2017年度町田市生涯学習に関する市民意識調査」

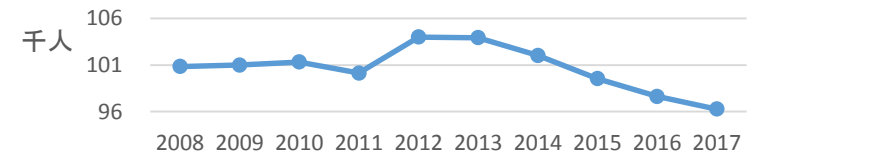
- ◆新たな図書館の出現
 - これまでの図書館枠を超えた、新たな図書館の誕生
 - 千代田図書館（千代田区）
 - 武蔵野プレイス（武蔵野市）
 - シリウス・中央林間図書館（大和市）
 - 伊万里市民図書館（伊万里市） など

4 沿革と現状

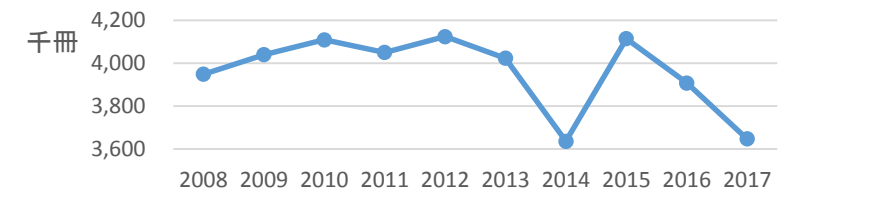
- （1）図書館の沿革
 - 1958年 町田市立図書館開館
 - 1972年 町田市立図書館移転（現さるびあ図書館の場所）
 - 1972年～1983年 分館整備（鶴川・金森・木曽山崎・堺）
 - 1990年 中央図書館開館
 - 2012年 鶴川駅前図書館開館
 - 2015年 忠生図書館開館

- （2）施設の現状 … 表参照
- （3）利用状況

- ①来館者数と認知度
 - 中央図書館来館者数 約62万人（2017年度）
 - 認知度 この1年間に図書館を利用したことのある市民は47.3%、知っているが利用していないと答えた43.3%を合わせると、市民の9割が図書館を知っており、図書館の認知度は極めて高い。
- *「2017年度町田市生涯学習に関する市民意識調査」
- ②登録者数（町田市民）の推移
 - 2012年度は鶴川駅前図書館の開館を契機に104,008人と10年間で最も多い登録者数となった。2015年度には忠生図書館が開館したが、99,534人であった。

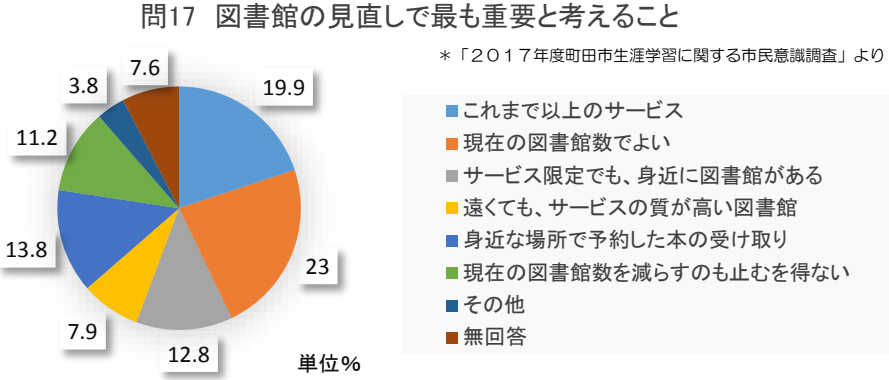
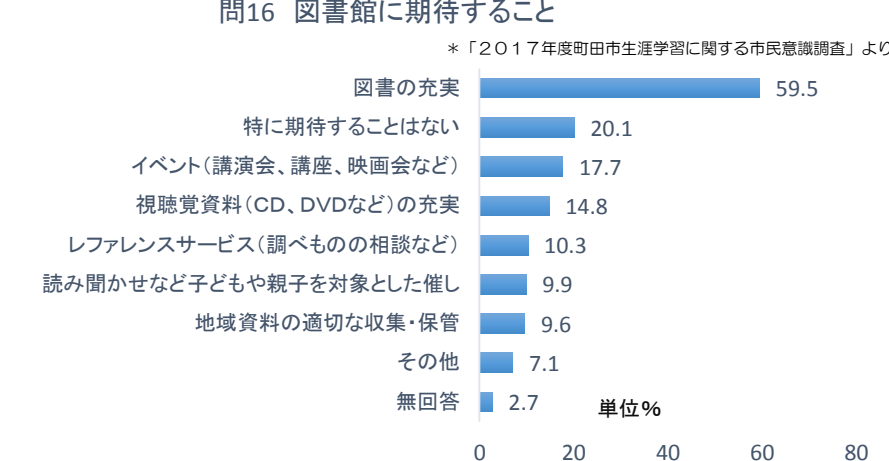


- ③個人貸出数（図書・雑誌）の推移
 - 2012年度は鶴川駅前図書館の開館もあり、約412万冊と10年間で最も多い貸出数となった。2014年度はシステム更改の関係等で開館日数が減少したため貸出数も減少し、2015年度には忠生図書館が開館したが、2012年度を上回ることではできなかった。



- （4）全国の中の町田市
 - 人口40万～50万人未満かつ自治体面積100km²以下の9都市比較
 - ◇全体 ○図書館数：3位 ○蔵書数：4位 ○貸出数：1位
 - ◇市民1人あたり ○蔵書数：4位 ○貸出数：1位
 - ◇1館あたり ○人口：4位 ○自治体面積：4位
 - ◇体制・経費 ○職員数：1位 ○経常費予算：1位

5 市民ニーズ



6 課題

- （1）図書館の適正配置の検討
 - ◆利用圏域（半径1.5km）の重複
 - 鶴川図書館・鶴川駅前図書館
 - 中央図書館・さるびあ図書館・金森図書館
 - 木曽山崎図書館・さるびあ図書館・忠生図書館
- （2）施設の老朽化等への対応
 - ◆施設維持のための大規模修繕が必要
 - 築40年以上（3館）30年以上（2館）
 - ◆町田市所有以外の施設更新も視野に入れた検討が必要
 - 鶴川図書館（UR）・金森図書館（東京都）
- （3）貸出数減少への対応
 - ◆図書館ごとの状況
 - 町田市立図書館全体の貸出数は減少傾向
 - 鶴川駅前・忠生・金森など新しく比較的規模の大きな図書館は大きな減少は見られない
 - 建築経過年数が長い小規模図書館の減少傾向が顕著
 - ◆読書普及への取り組み
 - 子どもやその親を含めたこの世代への働きかけ
 - 高齢者へのサービスの充実
- （4）運営経費の適正化
 - ◆町田市立図書館運営経費（2016年度課別行政評価シート）
 - 1,326,823千円
 - ◆人口40万～50万人未満かつ自治体面積100km²以下の9都市比較（再掲）
 - 職員数、経常費予算とも町田市が最も多い。

7 めざす姿（運営の基本方針）

町田市及び図書館を取り巻く状況の変化に対応するため、図書館の運営理念を継承しつつ、図書館の現状や課題、市民ニーズ並びに第4期町田市生涯学習審議会の答申等を踏まえ、今後のめざす姿（運営の基本方針）を4点に整理した。

① あらゆる市民が利用しやすい図書館

- ・世代や居住地、生活スタイルにかかわらず、あらゆる市民にとって身近で利用しやすい図書館サービスを実現する。
- ・地域の情報拠点として、魅力ある蔵書や資料を収集・提供していくとともに、市民一人ひとりが必要な情報を容易に得られるよう、きめ細やかな支援を行う。

② 子どもの読書活動を充実させる図書館

- ・未来の町田をつくる子どもたちの読書習慣を育むため、学校や学校図書館等との連携を強化し、子どもが魅力的な本とめぐり合える環境を整備する。
- ・読書活動を推進する団体・ボランティア等との連携・協力により、読書の魅力を感じることができるとの機会を充実する。

③ 地域のコミュニティ形成を支援する図書館

- ・地域で読書活動を推進する団体やボランティアの活動を支援することを通じ、本や読書活動をきっかけとした人と人、人と団体とのつながりを築く。
- ・地域コミュニティの形成支援を通じ、地域の課題解決、地域の発展に寄与する。

④ 地域の課題や社会状況の変化に対応する図書館

- ・その時々々の社会状況や地域の課題に対応するよう運営やサービスの手法を絶えず見直す。
- ・外国人居住者の増加に対応した運営、電子書籍市場の拡大、教育現場でのICT導入などの動向を踏まえた新たなサービスを展開する。

8 再編の必要性和方向性

（１）再編の必要性

市民意識調査や利用者アンケートによると、市民は図書館に対して、資料の充実や開館日・開館時間の拡大、閲覧席の増加等の環境改善を望んでいる。しかし近年町田市全体では図書館利用者の減少傾向が続いており、地域別の立地状況や貸出状況を見ると、サービス圏域の重複する図書館がみられる。貸出冊数の減少は、建築経過年数が長い小さな規模の図書館で顕著になっていることから、図書館は全体として、必ずしも市民ニーズに合わなくなっている可能性がある。

こうした状況を踏まえ、建築経過年数が長く建替えや大規模改修等を検討する必要がある図書館があることから、「総量適正化・集約化」の検討を行うものとする。また図書館は、機能の異なる施設の複合化により、施設間の相乗効果や賑わいの創出、利用者間の交流を誘導できる可能性を有していることから、「複合化・多機能化」の検討も行うものとする。

（２）再編検討図書館の設定

①集約化対象図書館の設定

「利用圏域の重複割合の大きさ」、「建設年からの経過年数」及び「近年の貸出冊数の推移」等を考慮して集約化の検討を行う。

○鶴川図書館と鶴川駅前図書館

○さるびあ図書館と中央図書館

②複合化対象図書館の設定

8館の図書館のうち、上記鶴川図書館とさるびあ図書館を除くと、単独館は木曾山崎図書館、金森図書館の2館であるため、今後、複合化の方向性の検討を行う。

（３）再編検討図書館の方向性

①集約化対象図書館の方向性

i) 鶴川図書館と鶴川駅前図書館 **短期** 2019～2026年度
URの建替えにあわせて鶴川駅前図書館に集約する方向で検討する。

◆鶴川図書館の利用状況

- 貸出冊数：8館中第7位
- 鶴川団地周辺の住民の利用が多い
- 2017年度の貸出数は2011年度の38.9%

◆市民の声

- 「鶴川図書館を鶴川団地センター商店街の中に存続させることを求める請願」採択（2017年9月）
- 「ワークショップ鶴川地域図書館のこれから」（2018年5月）

ii) さるびあ図書館と中央図書館 **短期** 2019～2026年度
さるびあ図書館の独自機能（移動図書館車運行、学校図書館・団体支援）の継続に留意しつつ、周辺の公共施設である保健所やすみれ教室の建替え等も視野に入れながら検討を継続する。

◆さるびあ図書館の利用状況・独自機能

- 貸出冊数：8館中第5位
- 2017年度の貸出冊数は2011年度の67.1%
- 町田市の南部・東部地域を巡回する移動図書館車2台を運行
- 学校図書館や団体等への支援

◆市民の声

- 「町田市立さるびあ図書館の存続を求める請願」採択（2018年3月）

②複合化対象図書館の方向性

i) 木曾山崎図書館 **中期** 2027～2036年度
建設年から40年以上が経過しているため、今後複合施設としての整備を視野に入れて改築等機能更新を検討するものとする。その際、木曾山崎コミュニティセンター等をはじめとした、周辺の公共施設等の建替え計画等にあわせて、複合化について検討するものとする。

ii) 金森図書館 **長期** 2037～2055年度

1999年の建設であり耐用年数は今後40年間であり、金森都営第11団地の建替え等がない限りは図書館の移転等の議論は現実的でないことから、当面は現状維持とし、長期的観点で検討する。

（４）再編を進めるうえでの留意点

- ①サービス利用に格差が生じることのない再編の検討
- ②図書館が持つ機能や役割の維持
- ③新たな利用者の獲得につながる再編の検討
- ④コミュニティの核となる地域住民や利用者との対話
- ⑤運営体制検討の視点

9 効率的・効果的なサービスの方向性

今後、めざす姿を実現するための、図書館の具体的なサービス及び最適な運営体制について検討し、2019年度中に効率的・効果的な図書館サービスの方向性を決定する。

（１）図書館サービスの見直し

①あらゆる市民が利用しやすくする

- 市民の図書館利用の促進
- 開館日・開館時間の拡大
- 図書館利用に障壁のある市民へのサービスの充実
- 移動図書館巡回運行の見直し
- 相互利用の拡大

②子どもの読書活動を充実させる

- 子ども読書活動の推進
- 学校図書館支援の充実
- 成長過程に応じた読書環境づくりの支援

③地域のコミュニティ形成を支援する

- 地域で活動するボランティアの支援
- 本と出会える場所づくり支援
- 関連団体との連携の強化

④地域の課題や社会状況の変化に対応する

- インターネットや電子情報の利用環境の整備
- 地域資料のデジタル化と公開

（２）図書館の資源の配分・（３）新しい運営体制の確立

これからの図書館サービスを行うのが、市の職員か民間活力やICTの活用かを確認する。民間活力の活用を考えるにあたっては、民間事業者の図書館運営に関するノウハウを活かし、サービス向上と運営費の適性化という観点から検討を行い、最適な運営体制を確立する。

今後の運営体制は、2019年度に決定し、2022年度に導入する。準備期間の2020・2021年度は正規職員と会計年度任用職員の業務範囲を見直した上での運営を行う。

（参考）今後のスケジュール

2019年	3月	議会常任委員会報告
2020年	2月	教育委員会 効率的・効果的なサービスの意思決定 （図書館の具体的なサービス及び最適な運営体制の決定）
2020年	3月	議会常任委員会報告

表 町田市立図書館の概要

図書館名			中央		さるびあ		鶴川駅前		鶴川		金森		忠生		木曽山崎		堺	
施設概要	建築年		1989年		1971年		2012年		1967年		1999年		2015年		1975年		1982年	
	面積(㎡)		5,968.00		1,234.32		1,190.00		259.75		1,499.50		1,228.79		320.60		429.00	
	主要な諸室		読書室 ホール		読書室 多目的室		対面朗読室		おはなし室		お話の部屋 対面朗読室		多目的室				おはなし室	
	独立館・複合館区分		独立館		独立館		複合館		独立館		独立館		複合館		独立館		複合館	
	併設施設						町田市鶴川緑の交流館						忠生市民センター				堺市民センター	
	土地建物所有状況		町田市		町田市		町田市		UR		東京都		町田市		(家)町田市・(土)UR		町田市	
	新耐震・旧耐震区分＊1		新耐震		旧耐震		新耐震		旧耐震		新耐震		新耐震		旧耐震		新耐震	
利用状況	蔵書冊数 2017年度		535,844		135,216		99,002		50,345		133,448		87,044		60,239		73,635	
	貸出 点数	2011年度	1,563,015		567,951		—		527,291		918,744		—		444,645		275,406	
		2017年度	1,104,527		381,032		541,438		205,251		701,076		551,266		213,265		104,036	
		増減率	70.7%		67.1%		—		38.9%		76.3%		—		48.0%		37.8%	
	＊2 利用 割合 上位	第1位(％)	原町田	16.8%	中町	20.7%	能ヶ谷	20.4%	鶴川	35.1%	小川	12.2%	忠生	12.3%	山崎町	36.8%	相原町	67.1%
		第2位(％)	玉川学園	7.2%	本町田	16.3%	金井	12.4%	能ヶ谷	11.8%	金森東	11.2%	図師町	11.7%	本町田	29.6%	小山町	17.2%
		第3位(％)	森野	6.0%	森野	15.8%	大蔵町	11.2%	大蔵町	11.0%	南成瀬	10.5%	木曽西	9.5%	木曽東	9.2%	小山ヶ丘	14.0%
		計		30.0%		52.8%		44.0%		57.9%		33.9%		33.5%		75.6%		98.2%
	利＊3 割併 合用	2012年	さるびあ 15%		中央 67%		鶴川 36%		鶴川駅前 35%		中央 51%				中央 40%		中央 17%	
		2015年	さるびあ 9%		中央 30%		鶴川 17%		鶴川駅前 32%		中央 26%		中央 13%		中央 18%		中央 10%	
増減		▲6		▲37		▲19		▲3		▲25				▲22		▲7		

*1 新耐震・旧耐震区分 建築確認証の交付日が1981年6月1日以降は新耐震基準

*2 2017年度町別貸出冊数割合

*3 出典:町田市立図書館利用者アンケート

※2017年度
堺図書館施設設備更新工事
※貸出点数
2016年度/2011年度
の割合 75.8%
(2016年度貸出点数 208,929)

◇・・・教育プラン重点事業

■取組2-3 子ども読書活動の推進【◇】	図書館
----------------------	-----

事業概要	生涯にわたって主体的に読書をする習慣を身に付けることができるよう、子ども読書活動の推進に関する全市的な取組をまとめた「第四次町田市子ども読書活動推進計画（2020年度～2024年度）」を策定・推進します。特に、子どもの読書活動に合わせた図書資料の充実とともに、小学校英語の教科化などの動向を踏まえ、外国語の絵本・児童書等を重点的に整備します。				
これまでの取組	第三次町田市子ども読書活動推進計画（2015年度～2019年度）に基づき、庁内各部署で計32の取組を実施するとともに、計画の進捗管理を「子ども読書活動推進計画推進会議」を通じて行っています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①第四次町田市子ども読書活動推進計画の策定		第三次計画に基づく事業の実施	策定完了（2019年度）	
	②外国語の絵本・児童書の蔵書数		3,966冊	6,500冊	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	第四次計画の策定	第四次計画に基づく事業の推進 推進会議を通じた事業の進捗確認の実施			
	外国語の絵本・児童書の計画的購入・活用 利用状況等の検証				利用状況等の検証
年度目標（指標①）	第四次計画の策定完了	事業の推進進捗確認	事業の推進進捗確認	事業の推進進捗確認	事業の推進進捗確認
年度目標（指標②）	4,500冊	5,000冊	5,500冊	6,000冊	6,500冊

■取組2-4 学校図書館との連携強化【◇】	図書館
-----------------------	-----

事業概要	小・中学校の学校図書館への支援や子どもの読書活動を充実させるために、図書館から学校図書館への貸出のしくみを改善するなど、支援方法を見直して、学校図書館と図書館との連携を強化します。				
これまでの取組	さるびあ図書館を拠点に、「学校図書館支援貸出」（しらべ学習等に対応して、図書館が選書を行って提供する）により、小・中学校の学校図書館へ本を車で配本するサービスを行っています。また、学校図書指導員への研修に協力しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①学校図書館支援貸出利用校数		35校	42校	
	②学校図書館支援貸出数		3,768冊	4,500冊	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	学校図書館支援貸出の実施				
	新たな支援内容の検討	貸出方法等の改善 新たな支援の実施			支援内容の検証
年度目標（指標①）	35校	37校	39校	40校	42校
年度目標（指標②）	3,800冊	4,080冊	4,220冊	4,360冊	4,500冊

■取組2-5 生涯学習施設の利用促進	文化財係・自由民権資料館・ 生涯学習センター・ 図書館・文学館
--------------------	---------------------------------------

事業概要	より多くの市民に生涯学習施設を知ってもらい、幅広い世代の利用につながるよう、リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信のほか、各施設の相互PRをはじめ、市内外の各機関と連携したPR活動を進めます。				
これまでの取組	リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信を行っています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①連携して行うPR活動件数		4件	10件	
	②SNS発信数		219回	800回	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	新たな連携先の検討・調整	新たな連携先とのPR活動の実施	検証	検証結果に基づくPR活動の見直しと実施	
	SNSを利用した情報発信				
	年度目標（指標①）	5件	6件	7件	8件
年度目標（指標②）	520回	610回	670回	720回	800回

■取組2-6 読書普及事業の充実	図書館
------------------	-----

事業概要	インターネットやスマートフォンの普及により、読書量が減っていると言われていす。小学生以下の子どもの読書のきっかけとなる事業や、中高生を対象とした図書館に足を運ぶきっかけとなるイベントを行うなど、18歳以下へ向けた取組を強化します。				
これまでの取組	小学1年生を対象に「としょかんいちねんせい*」を実施しました。小学校高学年、中学生、高校生を対象にPOP（本の紹介カード）を応募する「まちだライブ・ラリー」を実施しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	18歳以下の方の利用登録につながる事業数		2事業	4事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	事業の実施・検討	3事業実施		4事業実施	
			事業内容の検証		事業内容の検証
年度目標	2事業	3事業	3事業	4事業	4事業

*としょかんいちねんせい：公立小学校の新1年生に引換券（兼・利用登録用紙）を配布し、図書館・文学館に引換券を持参した児童にカードケースを贈る事業。

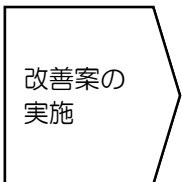
■取組2-7 シニア世代向け事業の充実	図書館
---------------------	-----

事業概要	いつでもだれでも気軽に利用できるという図書館の強みを活かし、地域の図書館で認知症予防の講座を市民と協働して実施するなど、シニア世代が住み慣れた地域でいきいきと健康に暮らしていくための取組を行います。				
これまでの取組	未実施				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	シニア世代を対象とした事業数		未実施	2事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	実施検討	1事業実施		2事業実施	
			事業内容の検証		事業内容の検証
年度目標	実施検討	1事業	1事業	2事業	2事業

■取組2-8 障がい者サービスの充実	図書館
--------------------	-----

事業概要	通常の活字による読書が困難な人の学びのきっかけとなるよう、マルチメディアDAISY（デージー）*の貸出を拡充するなど、より対象者を広げた障がい者サービスを行います。				
これまでの取組	視覚障がいなどで活字を読むことが困難な人、寝たきりなどで図書館への来館が困難な人へのサービスを行っています。さらに、視野狭窄などにより読書が困難な人を対象に、リーディングトラッカー（読書補助具）の貸出を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	通常の活字による読書が困難な人を対象とした事業数		1事業	3事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	事業の実施・検討	2事業実施		3事業実施	
			事業内容の検証		事業内容の検証
年度目標	1事業	2事業	2事業	3事業	3事業

*マルチメディアDAISY（デージー）：音声と一緒に、文字や絵、写真などを見ることができるパソコンで読む本のこと。

■取組2-9 図書館資料による情報提供機会の充実				図書館	
事業概要	町田市の施策や町田市の魅力をより多くの市民にPRするために、図書資料の展示方法やPRを改善しながら、「本の特集コーナー」による情報提供機会の充実を図ります。				
これまでの取組	2015年度から町田市の施策をPRするための「本の特集コーナー」を市の各部署と連携して行っています。市の施策を市民に役立ててもらうとともに、図書館利用者を増やす取り組みのひとつとなっています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	他部署や他機関と連携した「本の特集コーナー」の実施数		19回	33回	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	 改善点の洗い出し	 改善案の実施	 改善点の洗い出し	 改善案の実施	 改善点の洗い出し
年度目標	19回	26回	26回	33回	33回

■取組2-10 「町田ゆかりの作家」紹介事業の充実			文学館		
事業概要	中学生を対象に町田ゆかりの作家*を紹介し、町田市への愛着をさらに持ってもらうきっかけとなるよう、パンフレット「町田の文学ガイド」を作成します。				
これまでの取組	大人向けの資料として、展覧会で紹介した町田ゆかりの作家を図録にまとめています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）		目標値（2023年度）
	「町田の文学ガイド」作成		未実施		作成・配布
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	他市事例等の調査	ゆかり作家情報の整理・調査	企画立案・編集方針の決定	原稿作成 校正作業	印刷・完成 配布
年度目標	調査完了	調査完了	編集方針の決定	原稿完成	完成・配布

*町田ゆかりの作家：遠藤周作や森村誠一など、その生涯や作品が町田市と深く関わり、文学の分野で一定の社会的評価を受けている小説家、歌人、俳人、詩人、絵本作家、漫画家等。

■取組3-7 講座・講演会事業の充実	自由民権資料館
--------------------	---------

事業概要	より深く歴史について学びたいという市民のニーズに応えられるよう、古文書講座や町田自由民権カレッジを実施するほか、特別展・企画展に関連した講演会や講師を招いた講座・講演会等を実施します。				
これまでの取組	古文書講座、町田自由民権カレッジのほか特別講座や、特別展に関連した講演会を実施しています。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	講座・講演会等の実施回数			60回	70回
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	講座・講演会 40回実施	講座・講演会60回実施		講座・講演会70回実施	
	講座・講演会の内容の検証・改善				
年度目標	40回 ※改修工事の為	60回	60回	70回	70回

■取組3-8 レファレンスサービスの充実	図書館
----------------------	-----

事業概要	市民の調査・研究を援助するレファレンスは、市民一人一人の学びを深めることができる重要なサービスです。求める資料を見つけることができるように、レファレンスサービスの充実に向けて技術の向上を図ります。さらに、レファレンス事例の公開や、インターネット情報にアクセスできる環境を整備します。				
これまでの取組	レファレンス事例をデータ化し、インターネットで公開しました。基本的な資料を案内する「パスファインダー」を作成しました。調べ物に役立つ情報をまとめた「レファレンス通信」を発行しました。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	レファレンス事例の公開件数			162件	250件
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	レファレンス事例の公開				
	レファレンス事例の点検と今後の改善方法の検討		レファレンス技術の向上のための改善プラン実施		事例の公開の振り返り
年度目標	190件	205件	220件	235件	250件

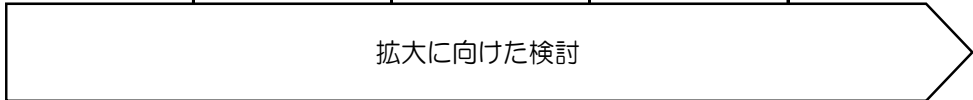
■取組4-3 地域で活動するボランティアの養成・支援【◇】	図書館
-------------------------------	-----

事業概要	おはなし会などの本にかかわる活動がより活発に行われるよう、地域や学校で活動するボランティアを養成するとともに、ボランティアが行うおはなし会の開催を支援します。				
これまでの取組	各図書館でのおはなし会については、ボランティア入門講座を行っておはなし会の担い手を育成し、職員とボランティアが協力して、おはなし会を実施しています。				
活動指標	指標	現状値（2017年度）		目標値（2023年度）	
	①地域で活動するボランティア向け講座の開催回数	1回		3回	
	②地域で活動するボランティア向け講座への参加者数	26人		90人	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	ボランティア向け講座の実施、内容の検証・改善				
	新たな支援方法の検討		新たな支援の実施		
年度目標（指標①）	1回	1回	2回	2回	3回
年度目標（指標②）	30人	30人	60人	60人	90人

■取組4-4 学習成果の発表機会の支援	生涯学習センター
---------------------	----------

事業概要	生涯学習センターを拠点として活動している市民団体や、町田市及び近隣地域で活動する学生団体が、より多くの人に日頃の活動の成果を発表できる機会を提供します。				
これまでの取組	日頃の活動の成果を発表する「生涯学習センターまつり」、「学生活動報告会」を開催しています。				
活動指標	指標	現状値（2017年度）		目標値（2023年度）	
	①生涯学習センターまつりへの参加団体数（来館者数）	53団体（2,167人）		58団体（2,500人）	
	②学生活動報告会への参加団体数	9団体		11団体	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	生涯学習センターまつりの実施（運営委員会による内容検討）				
	学生活動報告会の実施（参加学生団体への支援・内容検討）				
年度目標（指標①）	新たな支援内容の検討	新たな支援に向けた調整	新たな支援の実施		検証
	54団体（2,230人）	55団体（2,300人）	56団体（2,370人）	57団体（2,430人）	58団体（2,500人）
	10団体	10団体	10団体	11団体	11団体

■取組4-7 図書館運営の地域協働化の促進	図書館
-----------------------	-----

事業概要	市民の学習を支える図書館活動を市民参画・協働でこれまで以上に進めることができるよう、図書館で活躍するボランティアの活動分野を拡げていきます。				
これまでの取組	児童サービスの「おはなし会ボランティア」、障がい者サービスの「宅配ボランティア」・「音訳ボランティア」・「点訳ボランティア」・「対面朗読ボランティア」で市民ボランティアが活動しています。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	ボランティア活動分野の拡大			5分野	7分野
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					
					
年度目標	5分野	6分野	6分野	7分野	7分野

■取組4-8 市民の文学活動への支援	文学館
--------------------	-----

事業概要	多くの市民が文学の楽しみを知り、市民同士の交流が広がるよう、市民の活動の自発性を尊重しながら、その学習成果や文学的知識、技能、表現力などを還元できる機会をつくります。				
これまでの取組	読み語り実行委員会との朗読会、紙芝居サークルとの紙芝居上演会、幼児向けおはなし会などを協働で実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	支援団体数		5団体	7団体	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	市民団体への支援				
	事業内容の検証		検証を踏まえた新たな事業の実施		
年度目標	6団体	6団体	6団体	7団体	7団体

■取組5-1 支援が必要な人への学習機会の提供【◇】	生涯学習センター
----------------------------	----------

事業概要	外国人居住者、障がい者、ひきこもり当事者など文字の読み書きや基礎学力の学び直しを求める人の学習機会を保障するため、学習に関するニーズ調査を行い関係機関と連携して学習機会を提供します。				
これまでの取組	障がい者を対象とした「障がい者青年学級」、ひきこもり当事者を対象とした居場所事業などを実施しています。				
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）		
	①多文化共生*に関する学習事業数	1事業	3事業		
	②社会的困難を抱えた人への学習事業数	3事業	5事業		
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	各種学習事業の実施 関係機関への働きかけ				
	参加者アンケート等によるニーズ調査・ 事業内容への反映			市民意識 調査での ニーズ 把握	新たな 事業の 実施
年度目標 （指標①）	1事業	2事業	2事業	3事業	3事業
年度目標 （指標②）	3事業	4事業	4事業	5事業	5事業

*多文化共生：国籍や民族などが異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、ともに生きていくこと。

■取組5-2 本と出会う場所の創出【◇】	図書館
----------------------	-----

事業概要	町田市内には大学図書館や地域文庫、まちライブラリー*など本に触れることができる施設が各地域にあります。これらの施設と図書館が連携して読書活動を推進する取組を進めるとともに、これらの施設の情報を集約した読書マップを作成します。				
これまでの取組	市民が利用可能な大学図書館やおはなし会を実施している団体の情報を収集し、図書館ホームページに掲載しています。				
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）		
	①読書活動推進にかかる連携施設数	20か所	25か所		
	②読書マップの作成	未実施	作成・公開 （2020年度）		
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	図書の貸出・閲覧やおはなし会がある市民利用施設との連携推進				
	本に触れる ことが できる施設の 把握	マップの 作成・ 公開		マップの 更新	
年度目標 （指標①）	21か所	22か所	23か所	24か所	25か所
年度目標 （指標②）	施設の把握	作成・公開	検証	更新	検証

*まちライブラリー：47ページのコラム「まちライブラリーとは？」を参照。

■取組5-5 図書館利用者の利便性の向上	図書館
----------------------	-----

事業概要	インターネットやスマートフォンの普及、書籍のデジタル化により市民の読書スタイルは多様化しています。図書館に来館しなくても市民が読書をする機会が増えるよう、電子書籍の導入を目指します。				
これまでの取組	未実施				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	電子書籍サービスの導入		未実施	実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	先進事例の研究調査・補助金の調査・民間活力手法導入検討		導入のための仕様作成と実施に向けた準備		実施
年度目標	調査	検討	仕様作成	実施準備	実施

■取組5-6 地域資料の活用の推進	図書館
-------------------	-----

事業概要	現在、紙の媒体で管理されている地域資料は、地域活動を行っていく上で重要な資料です。これらを積極的に活用できるよう、これまで蓄積してきた地域資料のデジタルアーカイブ*化を進めます。				
これまでの取組	未実施				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	地域資料のデジタルアーカイブ化の推進		未実施	実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	地域資料活用のための計画作成	デジタル化対象資料の整理	イメージデータの作成		段階的な公開
年度目標	検討	整理	データ作成	データ作成	実施

*デジタルアーカイブ：電子図書館をはじめ、作品、文化財その他の情報をデジタル化して収集・保存・公開する活動や場の総称。

■取組5-7 市民のニーズに合った図書館事業の実施	図書館
---------------------------	-----

事業概要	図書館全館で利用者アンケート調査を実施し、図書館利用者のニーズを把握して、図書館サービスの改善に役立てます。				
これまでの取組	図書館全館での利用者アンケートを2009年度から3回実施しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	図書館利用者アンケートの実施		未実施	実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	アンケート実施準備	アンケート実施と公表	事業の評価と改善		次期アンケート実施準備
年度目標	検討	実施	活用	活用	検討

■取組5-8 町田の文学の継承	文学館
-----------------	-----

事業概要	継続的に収集してきた町田市の文学的財産である町田ゆかりの作家の貴重な資料を、適切に整理・保存・研究し、研究の成果を広く市民が利用できるよう公開します。また、これまでに蓄積した情報や資料を継承していくための図録や目録等を作成します。				
これまでの取組	町田ゆかりの作家の資料を収集・保存・研究し、公開しています。毎年、展覧会の成果をまとめた図録を作成しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①貴重資料の公開回数		未実施	年4回	
	②図録や目録等の作成件数		1件	2件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	公開（試行）調査	検証・調査	公開・調査		
	図録等の刊行（年1件）				
			目録等の企画・検討	図録等の刊行（年2件）	
年度目標（指標①）	公開（試行）	検証	公開（年2回）	公開（年2回）	公開（年4回）
年度目標（指標②）	1件	1件	1件	2件	2件

「めざす姿」実現に向けた図書館サービスのアクションプラン（素案）

めざす姿

①あらゆる市民が
利用しやすい

②子どもの読書活動を
充実させる

③地域の「コミュニティ
形成を支援する

④地域の課題や社会状況
の変化に対応する

～2020年度

2021年度

2022年度

2023年度

2024年度～

★相互利用の拡大

隣接する自治体との相互利用
を拡大

★移動図書館の出張運行

ニーズに合わせて運行見直し。
子どもセンターや冒険遊び場、高齢者
施設など、人が集う場に出向き、交流
や憩いの場をを創出

★開館日・開館時間の拡大

通勤・通学客の多い駅に近接する
中央、鶴川駅前で開始

★図書館利用に障壁のある
市民へのサービスの充実

電子書籍などICT活用で、読書が
困難な方などに向けた、新たな
図書館サービスを展開

★「えいごのまちだ」の推進

外国語の絵本・児童書等を重点的に整備

★第四次子ども読書活動推進計画
(2020-2024)の策定と推進

自ら進んで本を読む子を育てるための
計画づくりと事業の推進

★読書マップの作成

大学図書館、地域文庫、まちライブラリー
など、本に触れることができる施設の
情報を集約した読書マップを作成

★中高生の居場所づくり

今あるスペースを有効に活用して、
中高生が勉強できる場を提供

★中央図書館30周年記念事業

町田市の様々な地域課題をテーマ
に本と連動した連続講座を企画

★情報発信の充実

中央に広報担当を新設。HP・Twitter
・子育てサイトを通じた情報発信を充実

★移動図書館で体験学習

小中学校、保育所、幼稚園等に出向き、
ミニおはなし会や図書館講座などを実施。
体験しながら学習ができる機会や
本に触れる機会の充実

★学校図書館支援の充実

学校図書館への貸出方法を改善。
学校教育部と連携し、新たな支援
方法を検討

★電子書籍サービスの導入

インターネット環境・スマートフォンの普及
や市民のスタイルの多様化に対応

★地域資料の活用の促進

地域活動を行う上で重要となる地域資料
のデジタルアーカイブ化を進め、地域活動を支援

★市民のニーズに合った図書館事業の充実

図書館の資源を再配分。公立図書館として
収集するにふさわしい「図書の充実」を実現

★中高生など若い世代向けイベントの充実

「POPコンテストまちだ」など若い世代に
向けたイベントを行い、図書館の利用を推進

★図書館研修の実施

学校図書館担当者や新任教諭に、
図書に対する理解を深めるための研修
を実施する等、図書館のもつ技術・知識
をいかした支援を実施

★地域で活動するボランティアの育成・支援

学校や地域で活動するおはなし会ボランティア
の養成と活動支援を実施

★部門横断の取組

町田市の各部署の施策PRのため、
特集コーナーの設置・イベントの実施

通期の取組

通期の取組

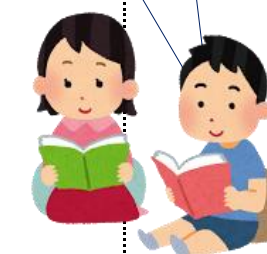
通期の取組

通期の取組

通期の取組

未来のまちだの図書館の取組について
ご意見をお願いいたします。

未来のまちだの図書館の取組について
ご意見をお願いいたします。



2018年度図書館評価の外部評価について

■町田市の図書館評価の概要

○2008年6月図書館法改正（第7条の3、4）

「図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」

「図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。」

○第1期図書館評価（2009年度～2013年度）

上記法改正を契機に制度開始、取組項目と目標を個別に設定

外部評価は図書館協議会にて実施

○第2期図書館評価（2014年度～2018年度）

2013年4月に策定した「図書館事業計画」（計画期間：2013～2018年度）をベースとした評価。外部評価は引き続き、図書館協議会にて実施

■2018年度（第2期最終年度）の外部評価について

○予定スケジュール

- ・第2回協議会（9/27） 2018年度実績値など資料提示
- ・第3回協議会（10/31） 中間確認
- ・第4回協議会（1月） 最終案の確認

■第3期図書館評価（2019年度～2024年度を予定）について

「図書館事業計画」は、2019年度からは「町田市生涯学習推進計画2019-2023」に集約したため、図書館評価についても「町田市生涯学習推進計画2019-2023」に掲げた各取組項目をベースに評価を行うことを予定しています。

第4期町田市生涯学習審議会委員の推薦について

■町田市生涯学習審議会の概要

○目的

生涯学習審議会（以下「審議会」という。）は、教育委員会の諮問に応じて、生涯学習の振興及び社会教育に関する基本方針の立案、施策及び事業について調査審議する機関です。

○所掌事務

審議会は、教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査、審議し答申します。

①生涯学習の振興及び社会教育（体育及びレクリエーションの活動を含む。以下同じ。）に関する基本方針を立案すること。

②生涯学習及び社会教育に関する施策及び事業を評価すること。

③上記に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

なお、今年度は「町田市生涯学習センターに求められる役割について」答申をまとめていただきます。（2019年6月24日諮問済み）

○委員の構成

「町田市生涯学習審議会条例」で定めている委員の人数は15人以内です。

①社会教育委員（8人以内）

②生涯学習または社会教育の関係機関の代表（5人以内）

③公募による市民（2人以内）

■図書館協議会からの委員推薦

生涯学習または社会教育の関係機関の代表として、図書館協議会に委員の推薦依頼があります。

○任期

2019年10月1日～2020年3月31日

※第4期の任期は2018年4月1日から2020年3月31日（2年）

○会議予定

年間6回程度。

なお、2019年度は、6月24日に第1回を開催していますので、残り5回を予定しています。

第2回 10月9日（水） 9:30～11:30

第3回 10月23日（水） 9:30～11:30

第4回～6回の日程は今後調整のうえ決定

○報酬

会議1回の出席につき10,000円